

駐日メキシコ大使  
メルバ・プリーアさん

# 男女議員同数 社会変わった

左の記事を読んで、下の問いに答えましょう。

MELBA・PRIA メキシコ・シティ生まれ。駐インドネシア大使、駐インド大使を経て、19年から現職。



メキシコは2018年に連邦議会におけるパリテ（男女同数）をほぼ達成した。昨年は女性のシェインバウム大統領が誕生している。社会全体の強い「変革への意思」と、長期的で段階的な努力の積み重ねが実現させた。原動力は法律改正だけではなく、社会の慣習をも変えようとする包括的なアプローチにあった。

初の女性議員が誕生したのはユカタン州で1923年。連邦レベルでの女性の参政権が認められたのは30年後だ。決して平坦で短い道のりではなかったことが分かる。だが、マチズモ（男性優位主義）が浸透する社会でパリテを実現した私たちの経験は、困難であっても一歩一歩、着実な変化を押し進めれば変革できることを示す。

政治的な意思決定の場に女性の進出を促進したのが、性別ごとに候補者枠を制限するクオータ制の導入だ。2002年以降、法改正で義務化。その後、比率も40%に拡大した。14年の憲法改正では政党候補者を男女同数と定めた。達成できない場合、その政党の候補者登録を認めないという罰則導入で実効性を高めている。

法的枠組みの変化は、議員数だけでなく社会に劇的な変化をもたらした。女性候補者が増えることで有権者はAではなくBで候補者を選べるようになった。賃金格差や家庭内暴力、性暴力といった女性の課題に焦点が当たり、対策が推進されるようになった。また「自分もリーダーになれる」と、若い世代の意識が変化した。

女性候補者の数が十分ではなかった時代、たとえ政策的に賛同できなくても私は女性に投票し続けた。それが私の意思だからだ。育児や家事の役割は依然女性に偏り、女性が政治家を目指す壁にもなっている。政府や制度だけに頼るのではなく、社会全体で女性が意思決定の場にいることを強く求め続けることが不可欠だ。

1 傍線部の、パリテを実現させたのはどんな力ですか。次の文の空欄に、本文中から適語を抜き出して入れましょう。

原動力は、法律だけでなく  

--	--	--	--	--

も変えようとする

強い意志で、長期的で段階的な  

--	--

の積み重ねが実現させた。

2 メキシコは特にマチズモ(男性が女性より優れているという考え方)が強い国でしたが、政治の場に女性が増えるきっかけとなった制度は何ですか。本文中から抜き出して書きましょう。

--

3 空欄ABにはそれぞれ「性別」「政策」のどちらが入りますか、書きましょう。

A	B
---	---

## NIEワークシートのこたえ（2025年12月25日公開）

### ◆ワークシート「メキシコ男女議員同数(社会)」 2025.12.25付 朝刊 11面 解答

- 1 社会の慣習      努力
- 2 クォータ制
- 3 性別    政策